

児童虐待の防止等に関する意識等調査



調査票（小・中学校用）

調査の目的とご協力のお願い

総務省行政評価局では、児童虐待の防止等に関する法律（平成 12 年法律第 82 号）等に基づき、国、地方公共団体等が講じている政策について、どのような効果を上げているか、見直し・改善を要する事項はないか等を明らかにするため、現在、「**児童虐待の防止等に関する政策評価**」を実施しています。

本意識等調査は、この政策評価の一環として、児童虐待の防止等を推進するため、地方公共団体等の第一線で尽力されている方々から、現在取り組まれている各種方策等の課題等についてご意見を伺い、今後の見直し・改善に資することを目的として行うものです。

本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

また、お手数ですが、記入済みの調査票は記入漏れがないか確認していただいた上で、同封の返信用封筒に入れて、平成 22 年 8 月 31 日（火）までに投函していただきますようお願いいたします。

<記入上のお願い>

- ◆ 本調査票は、上記目的以外には使用しませんので、ありのままをご記入ください。
- ◆ お聞きしたい事項は、児童虐待の防止等に係る①発生状況、②学校における取組、③研修、④家庭・地域社会における取組についてのご意見です。具体的には、**実際の児童虐待対応の中で不十分だと感じておられること等を含めて、学校で児童虐待対応に携わっておられる方の率直なご意見、ご要望を伺うものであり、これらを踏まえて本政策評価に反映させていきたいと考えています。**
- ◆ 本調査票は、貴校において児童虐待対応に最も深く関わっておられる教職員等の方にご記入いただきますようお願いいたします。
- ◆ 回答の仕方は、□をつけて答えを示してある質問では、当てはまる選択肢にレ点を付してください。また、（ ）書きについては、必要な事項を記入してください。
- ◆ 本調査票は、回答日現在でお答えください。

【ご不明な点についてのお問い合わせ先】

総務省行政評価局（内閣・総務・厚生労働・防衛担当室） 担当：仲里、今井、鈴木、石丸
電話：03-5253-5453（直通）

1 児童虐待の発生状況について、あなたの実感を伺います。

【すべての方に伺います】

問1-1 あなたの実感として、児童虐待は増えてきていると思いますか、減ってきていると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。(n=1,952)

- 86.9% ① 増えてきていると感じる
 - 11.0% ② 変化していないと感じる
 - 0.4% ③ 減ってきていると感じる
- 無回答 1.6%

【問1-1で「増えてきていると感じる」と回答された方に伺います】

問1-2 「増えてきている」と実感している理由は何ですか。特に当てはまると思う選択肢を三つまでお選びください。(n=1,653)

- 90.7% ① 保護者の養育能力の低下
 - 14.2% ② 望まない妊娠の増加
 - 42.9% ③ 家族構造の複雑化（継父母などのステップファミリー等）
 - 24.5% ④ 精神障害等を患う保護者の増加
 - 46.6% ⑤ 保護者の地域からの孤立化
 - 38.1% ⑥ 経済的に余裕のない家庭の増加
 - 5.6% ⑦ 共働きの増加による保育所等の社会資源不足の加速化
 - 18.3% ⑧ 虐待が世代間で連鎖する現象の増加
 - 1.7% ⑨ 子ども側の要因の増加
 - 4.2% ⑩ その他（ ）
- 無回答 0.0%

2 児童虐待の防止等に関する学校における取組について、あなたの実感を伺います。

【すべての方に伺います】

問2-1 あなたは、学校において児童虐待又はそのおそれを発見した際に、スムーズに対応するために重要なことは何であると思いますか。特に当てはまると思う選択肢を一つお選びください。(n=1,932)

- 86.9% ① 担当教員だけでなく、担当教員以外の責任者と一緒に組織的な方針の決定や対応を行うこと
- 8.1% ② 対応方法についての研修
- 1.4% ③ 教育委員会からの指導徹底
- 2.2% ④ その他 () 無回答 1.3%

【すべての方にお伺いします】

問2-2 あなたの学校においては、児童虐待又は児童虐待のおそれを発見した場合に、速やかに児童相談所や市区町村児童虐待対応の担当課に相談、情報提供することに対して、抵抗があると感じますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。(n=1,950)

- 2.2% ① 抵抗があると感じる
- 12.9% ② どちらかといえば抵抗があると感じる
- 11.8% ③ どちらともいえない
- 24.6% ④ どちらかといえば抵抗がないと感じる
- 47.1% ⑤ 抵抗がないと感じる
- 0.2% ⑥ 分からない 無回答 1.1%

【問2-2で、「抵抗があると感じる」又は「どちらかといえば抵抗があると感じる」と回答された方に伺います】

問2-3 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。(n=293)

- 57.7% ① 学校は、保護者との関係が悪化することを恐れる傾向にあるから
- 73.4% ② 学校は、校内で事実を把握し、誤報の可能性がなくなってから、通告すべきだとの考えであり、その前段階での相談、情報提供は控える傾向にあるから
- 4.8% ③ 学校自体がどう対応して良いか分からないから
- 2.7% ④ 学校は、可能な限り学校内の教職員等だけで対応する方が適切な対応が行えるとの考えがあるから
- 10.6% ⑤ その他 () 無回答 0.3%

【すべての方に伺います】

問2-4 あなたは、児童虐待を疑うきっかけは何が多いと思いますか。特に多いと思う選択肢を三つまでお選びください。(n=1,937)

- 88.5% ① 不自然なケガがある、他の子どもと比較して身長が極端に低い又は大幅な体重減少があった、衣服が汚れている等の子どもの身体的様子
- 53.8% ② 表情が乏しい、触られること、近づかれることをひどく嫌がる、乱暴な言葉遣い、粗暴、拒食、過食等の子どもの言動
- 36.7% ③ 子ども本人の話
- 41.6% ④ 頻繁に欠席する等の登校の状況（健康診断や体育を欠席する場合も含む。）
- 15.6% ⑤ イライラしている、表情が硬い、人前で子どもを厳しく叱る、叩く等の保護者の様子
- 1.7% ⑥ 兄弟、姉妹からの話
- 11.6% ⑦ 他の保護者からの話
- 2.7% ⑧ 他の子どもからの話
- 17.1% ⑨ 養護教諭からの話
- 2.8% ⑩ スクールカウンセラーからの話
- 0.3% ⑪ スクールソーシャルワーカーからの話
- 16.6% ⑫ 他の保護者以外の地域の住民からの話
- 2.5% ⑬ 他の教職員からの話
- 1.1% ⑭ その他（)
- 0.1% ⑮ 経験がなく分からない 無回答 1.1%

【すべての方に伺います】

問2-5 児童相談所や市区町村等に虐待を通告した際やその後のこれらの機関の対応について、あなたはどのように感じましたか。当てはまる選択肢を一つお選びください。(n=1,950)

- 3.5% ① 十分だと感じた
- 20.9% ② どちらかといえば十分だと感じた
- 24.1% ③ どちらともいえない
- 21.8% ④ どちらかといえば不十分だと感じた
- 10.5% ⑤ 不十分だと感じた
- 17.9% ⑥ 通告事例がなく分からない 無回答 1.3%

【問2-5で「どちらかといえば不十分だと感じた」又は「不十分だと感じた」と回答された方に伺います】

問2-6 どのような点が不十分だと思いますか。その理由として特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。(n=604)

- 27.3% ① 通告直後の来訪が遅いと感じる場合があるため
- 42.7% ② 通告後の見守りを学校に任せっきりにされたと感じる場合があるため
- 12.4% ③ 通告後に児童相談所や市区町村が作成した対応方針の伝達が不十分であると感じる場合があるため
- 39.4% ④ 一時保護が必要だと思われる事例について、対応が遅いと感じる場合があるため
- 52.2% ⑤ 保護者への関わりに際しての協力や支援が不十分であると感じる場合があるため
- 2.8% ⑥ 要保護児童対策地域協議会における情報の共有化が不十分であると感じる場合があるため
- 8.1% ⑦ その他（) 無回答 0.2%

【すべての方に伺います】

問2-7 児童虐待の防止等のために、スクールカウンセラー等（スクールカウンセラーに準ずる者を含む。以下「SC」と表記します。）を配置することは有効であると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。（n=1,951）

- 49.1% ① 有効であると思う
 - 31.4% ② どちらかといえば有効であると思う
 - 9.7% ③ どちらともいえない
 - 6.2% ④ どちらかといえば有効でないと思う
 - 1.6% ⑤ 有効でないと思う
 - 1.6% ⑥ 配置されていないので分からない
- 無回答 0.4%

【問2-7で「有効であると思う」又は「どちらかといえば有効であると思う」と回答された方に伺います】

問2-8 児童虐待の防止等のために、SCは十分に配置されていると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。（n=1,569）

- 2.9% ① 十分だと思う
 - 16.8% ② どちらかといえば十分だと思う
 - 13.7% ③ どちらともいえない
 - 37.6% ④ どちらかといえば不十分だと思う
 - 29.1% ⑤ 不十分だと思う
- 無回答 0.0%

【問2-7で「どちらかといえば有効でないと思う」又は「有効でないと思う」と回答された方に伺います】

問2-9 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を一つお選びください。（n=149）

- 47.7% ① 毎日、学校に勤務してはいないため、教職員や生徒との関係性を築くことが困難であるため
 - 1.3% ② 養護教諭など現在配置されている他の教職員で足りるため
 - 1.3% ③ 教育委員会が実施する研修等が不十分であり、児童虐待への対応ができていないため
 - 25.5% ④ 児童虐待対応は、本来のSCの業務ではないし、対応する立場にないと思うため
 - 9.4% ⑤ 児童虐待対応のみでなく、他の課題（いじめ、不登校等）への対応もしているため
 - 13.4% ⑥ その他（ ）
- 無回答 1.3%

【すべての方に伺います】

問2-10 児童虐待の防止等のために、スクールソーシャルワーカー（以下「SSW」と表記します。）を配置することは有効であると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。(n=1,950)

- | | | | |
|--------------------------------|---|------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> 37.2% | ① | 有効であると思う | |
| <input type="checkbox"/> 28.3% | ② | どちらかといえば有効であると思う | |
| <input type="checkbox"/> 13.1% | ③ | どちらともいえない | |
| <input type="checkbox"/> 2.2% | ④ | どちらかといえば有効でないと思う | |
| <input type="checkbox"/> 0.9% | ⑤ | 有効でないと思う | |
| <input type="checkbox"/> 18.1% | ⑥ | 配置されていないので分からない | 無回答 0.3% |

【問2-10で「有効であると思う」又は「どちらかといえば有効であると思う」と回答された方に伺います】

問2-11 児童虐待の防止等のために、SSWは十分に配置されていると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。(n=1,275)

- | | | | |
|--------------------------------|---|-----------------|----------|
| <input type="checkbox"/> 0.6% | ① | 十分だと思う | |
| <input type="checkbox"/> 5.2% | ② | どちらかといえば十分だと思う | |
| <input type="checkbox"/> 10.4% | ③ | どちらともいえない | |
| <input type="checkbox"/> 25.2% | ④ | どちらかといえば不十分だと思う | |
| <input type="checkbox"/> 58.5% | ⑤ | 不十分だと思う | 無回答 0.1% |

【問2-10で「どちらかといえば有効でないと思う」又は「有効でないと思う」と回答された方に伺います】

問2-12 あなたは、なぜそのように思ったのですか。特に当てはまると思う選択肢を一つお選びください。(n=60)

- | | | | |
|--------------------------------|---|---|----------|
| <input type="checkbox"/> 80.0% | ① | 毎日、学校に勤務してはいないため、教職員や生徒との関係性を築くことが困難であるため | |
| <input type="checkbox"/> 8.3% | ② | 養護教諭など現在配置されている他の教職員で足りるため | |
| <input type="checkbox"/> 6.7% | ③ | 教育委員会が実施する研修等が不十分であり、児童虐待への対応ができていないため | |
| <input type="checkbox"/> 3.3% | ④ | その他 () | 無回答 1.7% |

3 児童虐待の防止等に関する研修等について、あなたの実感を伺います。

【すべての方に伺います】

問3-1 文部科学省では、「養護教諭のための児童虐待対応の手引」及び「教職員用研修教材「児童虐待防止と学校」」(CD-ROM)を作成・配布しています。これらの各取組について、「(i) 知らない」、「(ii) 知っているが、有効でないと思う」、「(iii) 知っており、今後も引き続き活用する」のうち当てはまる選択肢を一つお選びください。

教材名	(i) 知らない	(ii) 有効でない	(iii) 今後も活用する	無回答
a 養護教諭のための児童虐待対応の手引 (n=1,951)	42.9%	3.5%	51.5%	2.1%
b 教職員用研修教材「児童虐待防止と学校」(CD-ROM) (n=1,950)	41.0%	6.8%	50.3%	1.9%

【すべての方に伺います】

問3-2 現在、教育委員会が教職員等向けに実施している児童虐待対応に関する研修は、質、量ともに十分であると思いますか。当てはまる選択肢を一つお選びください。(n=1,952)

- 2.8% ① 十分だと思う
 21.1% ② どちらかといえば十分だと思う
 34.0% ③ どちらともいえない
 24.9% ④ どちらかといえば不十分だと思う
 10.4% ⑤ 不十分だと思う
 6.1% ⑥ 分からない
- 無回答 0.7%

【問3-2で「十分だと思う」又は「どちらかといえば十分だと思う」と回答された方に伺います】

問3-3 研修により、どのように意識が変わりましたか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。(n=465)

- 36.8% ① 児童相談所や市区町村への相談や通告をためらわずに行うことができるようになった
 74.6% ② 子どもの日常的な行動や様子から児童虐待の可能性を念頭に置くようになった
 56.6% ③ 児童虐待又はそのおそれを発見した場合は、速やかに管理職に相談するなど組織的な対応を心がけるようになった
 0.4% ④ その他 ()
- 無回答 0.6%

【問3-2で「どちらかといえば不十分だと思う」又は「不十分だと思う」と回答された方に伺います】

問3-4 あなたは、なぜそのように思うのですか。特に当てはまると思う選択肢を二つまでお選びください。(n=688)

- 23.4% ① 研修の内容や教材が実際の業務の実態に合っていないため
- 7.4% ② 研修プログラムの見直しが行われていないため
- 74.3% ③ 業務多忙により、研修に参加する時間を確保できないため
- 34.2% ④ 研修の実施回数が少ない又は減っているため
- 6.0% ⑤ その他 () 無回答 0.6%

【すべての方に伺います】

問3-5 教育委員会は、今後、何に重点を置いた内容で研修に取り組むべきであると思えますか。特に取り組むべきであると思う選択肢を一つお選びください。(n=1,933)

- 16.3% ① 子どもの心理的ケアについて習得できるような内容を充実させる
- 37.4% ② 親への対処方法が習得できるような内容を充実させる
- 41.4% ③ 関係機関との連携や協力を促進するための内容を充実させる
- 1.1% ④ 特になし
- 1.9% ⑤ その他 () 無回答 1.9%

4 児童虐待の防止等に関する家庭・地域社会における取組について、あなたの実感を伺います。

【すべての方に伺います】

問4-1 児童虐待の防止等にも資する家庭・地域社会における取組として、文部科学省では、以下の取組を実施しています。これらの各取組について、「(i) 知らない」、「(ii) 知っているが、有効でないと思う」、「(iii) 知っており、今後も引き続き取り組むべき」のうち当てはまる選択肢を一つお選びください。

取組名	(i) 知らない	(ii) 有効でない	(iii) 今後も取り組むべき	無回答
a 家庭教育支援基盤形成事業 (親向けの学習講座や家庭教育支援チーム活動) (n=1,951)	52.7%	6.2%	40.1%	1.0%
b 子どもの生活習慣づくり支援事業 (「早寝早起き朝ごはん」国民運動) (n=1,951)	11.5%	14.1%	73.3%	1.0%

5 国や地方公共団体が行っている児童虐待の防止等に関する取組について、あなたのご意見を伺います。

国や地方公共団体が行っている児童虐待の防止等に関する取組について、ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

(ご意見欄)

【最後に、あなた自身のことについて伺います】

A 勤務する学校がある都道府県名 (n=1,952)

都道府県名 ()

B 性別 (n=1,952)

65.2% ① 男性 31.6% ② 女性 無回答 3.3%

C 職位 (n=1,938)

9.2% ① 校長
12.7% ② 副校長
24.5% ③ 教頭
21.3% ④ 主任
17.3% ⑤ 一般教員
 7.1% ⑥ 養護教諭
 0.1% ⑦ スクールカウンセラー等
 0.0% ⑧ スクールソーシャルワーカー
 4.5% ⑨ その他 無回答 3.3%

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、記入漏れがないか、もう一度ご確認をいただいた上で、記入者ご本人が同封した返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、平成22年8月31日（火）までに投函していただきますようお願いいたします。